

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年5月31日(2018.5.31)

【公開番号】特開2016-55153(P2016-55153A)

【公開日】平成28年4月21日(2016.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2016-024

【出願番号】特願2015-83244(P2015-83244)

【国際特許分類】

A 4 3 D 3/14 (2006.01)

A 4 3 D 3/08 (2006.01)

【F I】

A 4 3 D 3/14

A 4 3 D 3/08

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月13日(2018.4.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

靴内の甲部及び指部に接する前方型手段と、

前記前方型手段の後方に設けられ、前記靴内の踵部に接する接触部を有する後方型手段と、

前記前方型手段と前記後方型手段とを連結し、連結された前記前方型手段と前記後方型手段との全体長を調節すると共に前記後方型手段を回動可能に保持する長さ調節手段と、  
前記後方型手段の前記接触部とは反対側の先端部に回動可能に取り付けられる長尺部材からなる取っ手手段と

を備えたことを特徴とする靴型保持装置。

【請求項2】

靴内の甲部及び指部に接する前方型手段と、前記前方型手段の後方に設けられ、前記靴内の踵部に接する接触部を有する後方型手段と、前記前方型手段と前記後方型手段とを連結し、連結された前記前方型手段と前記後方型手段との全体長を調節すると共に前記後方型手段を回動可能に保持する長さ調節手段とを有する靴型保持装置に取り付けられる靴型保持装置用補助具であって、前記後方型手段の前記接触部とは反対側の先端部に回動可能に取り付けられる長尺部材で構成されることを特徴とする靴型保持装置用補助具。